

作用汎関数をSとするとき、  
 $\Phi[x] = \exp\{(i/\hbar)S[x]\}$  で定義される汎関数 $\Phi$ は、  
 古典歴史を表す関数の各々を複素数に写すという点で、  
 私の新文法版量子論の量子歴史を表す汎関数（日本  
 物理学会2006年春季大会27pXA-6）と同じタイプの関  
 数だ。したがって、 $\Phi$ は新文法版量子論の如何なる量  
 子歴史を表しているのかや、 $\Phi$ は新文法版シュレディ  
 ンガー方程式（日本物理学会2007年春季大会28pSL-11  
 ）の解であるか否かを、問う事には意味がある。実際  
 にやってみると、 $\Phi$ は新文法版シュレディンガー方程  
 式の解ではない事が分かる。だから、 $\Phi$ はいずれかの  
 量子歴史を表しているはずだけれど、それがどの様な  
 量子歴史なのかを詮索する事はあまり重要ではないか  
 もしれない。それでは、Sは（ $\Phi$ は）新文法版量子論  
 にとって、どういう意味を持つのだろうか？今回の発  
 表は、この問題の提起です。この問題に対する解答の  
 発表ではありません。新文法版シュレディンガー方程  
 式の代わりに $\Phi$ を解に持つ方程式を作れば、私が今ま  
 でに発表して来た新文法とは全く別の新文法に導かれ  
 はしないだろうか？円環時間（日本物理学会2009年  
 秋季大会13pSH-3）を用いた場合には、上記の $\Phi$ は方  
 程式：

$\int dt [i\hbar \delta / \delta x(t) - dV(x(t)) / dx(t)] \Phi[x] = 0$   
 の解に成っている事を私は見付けた。